



切断した木材を組み合わせたラックの側面を作り上げていく。匠作成の図面のおかげで作業はすすむ。

3. 接合

上: ネジを締める前にボンドで仮止めする。
右: ドライバードリル FDD-1000を使用。軽量800gでドリルとしてもドライバーとしても使用でき、クラッチハンドルにより回転数も変化させることができる。匠曰くねじを逆手で持つと手を傷つける危険が少ないとのこと。



ここまでくるとやっとブーツラックっぽくなってきた。

4. 仕上げ



サンダーで表面を滑らかに研磨していく。木材パテの後が残らないように入念に。



右: ネジ締めで凹んだり、ドライバーで穴が開いたりした部分は木工用のパテを使用して埋めていく。左: サンダーに取りつける紙やすりは市販のものを3等分にすればちょうどよいサイズになる。



右: 塗装はビンテージ風に仕上がるオイルを塗っていく。匠に指導を仰ぎ、ムラが無いように…。左: ブーツのメンテナンスグッズをいれるボックスも作ってみた。とにかくトリマーで角を削るのが楽しくてたまらない。



完成

予想以上、自画自賛の出来栄である。

電動工具使用のポイント

- 使用しないときはコンセントを抜く
- 進行方向には立たない
- 材木はクランプなどが、ひとつ使い方を間違えると大けがを負うことになってしまう。思いがけず工具に触れたらスイッチが入り、身体を傷つけてしまった例も…。常に緊張感をもって使用しよう。

2. 加工

丸いものを使い、側面角、底面に曲線を描く。



ジグソーの強みは丸ノコでは不可能な曲線を切ることができること。



トリマーで木材の角を面取りしていく。ゆっくりと押し進め、角まで来たら丸くならないように力を外に逃がしながら押す。角を処理するだけでワンランク上の雰囲気になる。



編集部H

今回、DIY企画と聞いて「俺が、俺が!!」と真先に手を挙げた新人編集部員。しかしDIYの経験は中学校の図画工作くらい。電動工具を握るのは初めてである。



DIYの匠

仕事は電動工具の営業。プライベートでもDIYに励むというリョービ販売の三上さん。ご自宅の家具から、庭の小屋まで「Do it yourself」してしまふ。



俺のDIY

匠に教わる!!
百聞は一見に如かず! ということで
DIYの匠、電動工具メーカーRYOBIの三上さんのお力を借りて編集部員がDo it yourself!!

写真/ 織本和之 文/ 編集部

「おしゃれは無理だけど……せめて華麗に電動工具を扱いたい!!」ということで、今回指導を仰ぐのは電動工具メーカーリョービでDIYの匠と称される三上さん。生徒は今回が中学生の図画工作以来のDIYという編集部Hである。まず丸ノコを片手で持ってみると驚くほど軽い! そう、今回使うマイシリーズはエントリーモデルとして初心者でも使いやすいように設計されているのだ。いざ、電源を入れてみると厚い木材をスイスイ切断していく。汗まみれになつてのこぎり一本一本切っていくのがバカらしくなつてしまふ。

次にドライバードリルの登場。ドライバーとしてねじを締めることもドリルとして穴をあけることも可能な一石二鳥の工具である。クラッチ調節機能で締め付けの強さを調節でき、反転スイッチにより

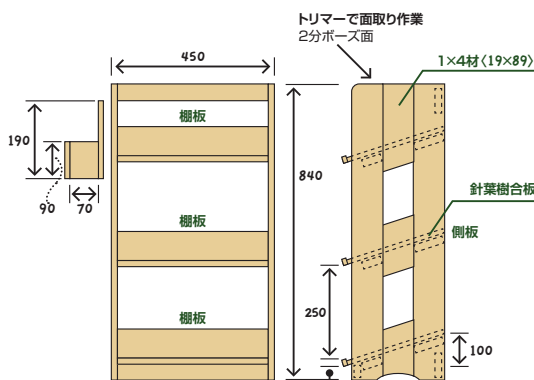
こぎりというんだかのかのこぎりでギョギョ木材を切り、とてつもなく大きい音を響かせながらトンカチで釘を打ち、指を叩き真つ赤に腫らしたうえで「ちよっと不格好だけどまあいいか」といった具合を想像してしまふ。しかしそのイメージはもう古くさいよう

で、今時のおしゃれでスマートなDIY男子は電動工具を使い、それまたおしゃれな物を作るらしい。

DIYというんだかのかのこぎりでギョギョ木材を切り、とてつもなく大きい音を響かせながらトンカチで釘を打ち、指を叩き真つ赤に腫らしたうえで「ちよっと不格好だけどまあいいか」といった具合を想像してしまふ。しかしそのイメージはもう古くさいよう

- 01 手軽に入手可能な材料でワンランク上の作品
- 02 上段はロングブーツも収納したい
- 03 日常メンテナンス用品も収納可能

シューズラック図面



編集部Hのめちゃくちゃなリクエストに対して匠 三上さんが作製した図面。あまりにも丁寧な図面作成が逆にプレッシャーとなる……。



今回主に使用するのは初心者にも最適で、良心お値段のRYOBIマイシリーズ。左上から時計回り●ジグソー MJ-50 ●トリマー MTR-41 ●丸ノコ MW-46 ●サンダー MS-30(すべてオープン価格)。



右:とにかく工具の進行方向に立たないこと。電動工具はとっても便利だがその分危険も伴う。左:切断面は上から覗き込むように見る。



1. 切断

まずは丸ノコで木材を切断していく。立ち位置、持ち方などを教わる。匠の工具さばきを目の当たりにし、この顔……

素早くビスを抜くことも可能。なによりトンカチではどうしても木材が傷ついてしまふが、ドライバーがあればそんな心配もいらぬ。ストレスなく製作することができる。そして個人的にグツときたのがジグソーとトリマーである。ジグソー……? トリマー……? 何とも聞きなれない工具に最初はビクビクしていたのだが、使ってみるととても簡単、そして何よりも楽しい。ジグソ

「切つて、つないで」で終わってしまふイメージだったが、この工具があれば角を曲線にし、円形の穴をあけてみたり、と製作物に自分なりの個性をもつて加工することができるのだ。トリマーは木材の角を削ることでトリミングすることが可能。トリマーがあれば何枚

もの紙やすりを使って角をとることも、摩擦熱で指がヤケドしてしまうこともオサラバ。そしてなにより「角を丸くする」という行為だけで制作物はスマートな印象になる。次にサンダーの登場。材木の表面を研磨し滑らかにしてくれる。木材パテや塗装のシミなどが気になった時も簡単に加工することができる。最後に塗装、メンテナンスボックス製作を経てブーツラックの完成である。編集部Hの無茶な要望をスマートに図面にまとめてくれた匠 三上さんのおかげか、とっても素敵なラックが完成した。本格的なDIYというのは誰もが敷居を高く感じてしまふもの。しかし電動工具を安全に正しく使うことができるればちよっとおしゃれな収納物だつて簡単に製作することができる。なにより仕事ではなく、なるので、慣れてくると道具を使うのが楽しくなってくる。DIYしたい! と思いついては元も子もない。今回使用したリョービマイシリーズは各真1万円以内というとてもリーズナブルな値段。この春、DIYに挑戦したいというビギナーへおすすめのラインナップである。